

科目名	保育実習指導Ⅲ		担当教員	佐藤 隆司・加藤 次郎		
			担当形態	複数		
テキスト	資料を適宜配布する。	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	前期
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標</b>          社会福祉施設において、利用者の状況を知り、適切な援助を行うための準備をし、実習後に実習体験のまとめを行うことで、自身の体験を省察し反省的な実践を行う素地ができる。</p> <p>&lt;利用者理解&gt;          ・社会福祉施設において、利用者がどのような生活をし、どのように人と関わって生きているのかを理解し考察する。</p> <p>&lt;職務の理解&gt;          ・職員の援助と、その基となる援助観や意図を理解し、利用者理解と共に考察する。</p> <p>&lt;施設の理解&gt;          ・地域における施設の使命を理解し、利用者の地域での生活を知る。</p> <p>&lt;自己課題&gt;          ・これまでの実習等から自身が設定したテーマや実習前後で新たに見えてきたテーマについて、自分なりに考察し、表明する。</p> <p><b>■授業の概要</b>          本授業は、保育実習Ⅲのための事前事後指導であり、事前に受ける指導とともに、実習後の指導までが含まれる。          1年次からの全ての実習の経験や学びを生かし、さらに深め、保育士としての心構えや態度の習得はもちろんのこと、利用者理解と援助との関係の理解、専門職として自律する自己の理解、さらには、将来どのような職業に就くのかなど、就業を考える機会にもなるような学びの獲得を期待する。          実習後の振り返りでは、実習の記録や体験を基に仲間同士で振り返り、自身が実習を通して何を見て何を感じ、目の前の利用者とのように関わり、なぜそのように考えたかなど、実習のまとめと「これまでの実習で自分は何を学び、何を獲得したのか」などの学びの総括を実施する。</p> <p><b>■授業計画</b></p> <p>第1回 オリエンテーション これまでの学びの確認          第2回 実習の目的・心構え          第3回 自己課題の発見と目標の設定          第4回 施設理解・利用者・制度等の理解（試験）          第5回 実習施設・地域の理解          第6回 ノートの書式と記録の方法          第7回 経過記録とエピソード記録①          第8回 経過記録とエピソード記録②          第9回 記録を深め実践につなげる          第10回 課題の整理と目標の設定          第11回 実習前のまとめ          第12回 実習で何を学んだか①（事後指導）          第13回 実習で何を学んだか②（事後指導）          第14回 実習で何を学んだか③（事後指導）          第15回 実習のまとめ</p> <p><b>■準備学習</b>          授業時間外に各自以下の課題に取り組むこと。          ・施設の理解、制度、障がいについての学習          ・各自の準備課題の実施、記入          ・これまでの実習記録の見直し、修正</p> <p><b>■評価方法</b></p> <p>・小テスト・提出物による評価 — 20%          ・事後学習の際のふり返りのレポート — 40%          ・実習記録 — 40%</p>						
参考文献	特になし。	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習準備のため授業の全てに出席することが求められる。</li> <li>・各教科の取得状況、取り組みの状況等によって、実習に臨むことが可能と判断できない場合には、実習に参加できない可能性があり得る。</li> <li>・実習が不十分で単位が認定されない場合、実習指導も合わせて認定されない。</li> <li>・保育実習Ⅰの単位未修得の場合、履修出来ない。</li> </ul> <p>【課題等のフィードバック方法】          レポートや実習記録はコメント等を記入し返却する。</p>			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択必修	幼				
		保	保育実習			